

国会に棲息?、妖鳥・アゲアシトリ

お客さま、こんにちは。お元気ですか?今年には西日本で桜の開花が少し遅れ気味、東日本は少し早め、もしくは例年通りといったところのようで、例年であれば桜が楽しめるかな、という時期に西日本エリアへ出張したもののアテが外れ、なんだか少し調子が狂うな〜と思いました。また私どもの会社が位置する新潟は、晩秋から初冬に入り、大変激しい雷がよく鳴るようになってくると、「ああ、雪下ろしがきたからもう雪が降るね」と、冬の訪れを感じさせられるのですが、あまり春先になって激しい雷雨というのはなかったように思います。それが今年には春先に強い雨と共に雷が鳴り、これもまたおかしな感じを受けました。やはり気候がおかしくなってきたのでしょうか…。気候もさることながら、ニュースでは毎日のように海外において内戦、自爆テロ、そして北朝鮮問題などが報道されており、いつ日本に飛び火しないとも限らない、どうも世界の情勢がだんだんキナ臭くなってきたというなど、誰しもが感じているのではないのでしょうか。

また日本国内においては少子高齢化、経済、エネルギー、年金など多くの課題を抱えている中で開催される国会の中継を見ると、一体なんの為の開催なのかと疑問符が山ほどついてしまうようなシーンが見受けられます。建設的な議論はどこへやら、一日単位で換算すると、3億とも4億とも言われている国会の場で、アラ探しと揚げ足取りと嫌味の応酬で時間と労力を費やし、ともすると審議中断、国会空転。それでもお金がかかると言います。であれば審議をボイコットした議員の議員歳費から、費用を差し引いても良いのではないかと考えたりして……。民間企業であれば義務違反で懲罰ものですよ。

またよく「国民の皆様が」と、何かにつけてお題目のように唱えています。誰のことを言っているのだろう?と思ってしまう。

おまけに思想が異なる政党同士が組んで統一候補を擁立し、選挙戦を戦うというのですから奇妙としか言いようがない。言っていることとやっていることが支離滅裂に思えます。無論、我々にもたらされる情報が全てではないので単純に批判はできないのですが、国という大きな大きな組織を束ねて行く方々なので、から、「妖鳥・アゲアシトリ」に憑依されて、大局を見ず重箱の隅ばかりを突っついていっているうちに、気が付いたら外資に乗っ取られた、などということにならないようにして頂きたいと、切に願っています。

日本の野鳥シリーズ

ウソかまことか

技術営業部 佐藤 弘

タイヤのCMにひと言もの申したい。「幅を細くして空気抵抗を減らした」とは、よく言ってくれた。効果ゼロではないから嘘はついていない。それに、具体的な数値を挙げているわけでもないのに、誇大広告にはあたらないのだろう。しかし、メカにうとい一般消費者を煙に捲くような広告は、果たしていかなものか。

かく言う根拠を示そう。セダンのマイカーを正面から眺めたとする。全体の投影面積に占めるタイヤの面積の割合はたかが知れている。それを少々細くしても正味減少する面積は全体の1%もない。そして空気抵抗値は投影面積に比例するから、その減少効果は同じく1%もない。一般にこれを効果ありと宣伝するだろうか。

CM画面のあの計算式で、ふた昔も前にマイカーの空気抵抗値を試算したことがある。空気密度・形状係数・投影面積をそれぞれ代入すると、時速50km走行時の抵抗値は8kgと出た。これは速度の二乗に比例するから、100km走行なら32kgの力で後ろに引っ張られ続ける。だから私は決して無意味にスピードは上げない。結果、私のMT車はメーカーのいう燃費を時に軽々とクリアする。

桜の開花前に、ウソが花芽を食って困るといふ公園管理者の映像が、季節ネタのようにテレビに流れる。その時期の桜は枯れ木も同然でウソの悪さは丸見えだ。だがそのお方は、咲き誇る花に隠れて姿は見えないが、せいぜい10羽以下のウソの群よりはるかに数が多い、スズメやヒヨドリが蜜を求めて花をむしることに気づかないのか。だからといって彼らが桜を1本丸坊主にしたとか、花見にならないほど無残にやられたとは聞かない。生活が掛かる果樹農家はともかく、花見にはなんの影響もないのだから黙認してやりたい。言うなら大人の了見でお裾分けか。ちなみに、魚を失敬するカモメたちをとがめだてする漁業関係者は見たことがない。

さて、2015年ノーベル医学生理学賞受賞の大村智教授は、先立たれた奥様の写真をいつも上着の内ポケットに入れているという。正装して授賞式に臨む教授に同行の記者が問いかけた「今も奥様のお写真は胸のポケットに?」。教授は写真を探すしぐさの後、すまし顔で「家内は恥ずかしがってなかなか出てきません」。なんとスマートで品のよい答えか。あのテの礼服の胸に内ポケットがあるのかどうか、私は知らない。たぶん、皆様ご賢察のとおり。

寄稿

神奈川県 横浜市 酒学工房 川松屋 店主 川松正孝 様

寒い冬から春へ、お体を大切にしていますか。インフルエンザ、ノロウィルス、アレルギー等カタカナ語が多いこの季節、体調管理が難しいですね。

健康法は沢山あり、何をどの様に実行するかと思い、ある時TVのスイッチを押してみた。するといきなり健康番組にあたった。その場で一緒に体を動かしたり、画面には食べ物の紹介、〇〇を食べると良くなる、下がる、増える等の言葉の語尾が、何とも耳に残る。そして食と健康の話題。特に「発酵食品は体に良い」が浸透している。奥様方の会話には「肌がすべすべ、便秘改善、ダイエット、腸の状態が良い」など、色々な解説付きである。では何故、今「発酵食品」が注目されているのか?…。答えは簡単「食が変化したから」である。

恵まれた現代、365日、24時間、常に食がある。好きなものを好きなだけ食べられる。まずいもの少なく（好き嫌いではなく）どれも美味しく出来ている。ちょっと味が濃いのが気にかかるが、薄味だと「まずい」という若者が多い。

味覚は子供時代の食が影響する。「三つ子の魂百まで」の格言がある様に、素材の味と薄味を大切にしながらダシの文化を考へてみる必要があるのではないかと思う。

一方1950年代以降、肉と油の消費が多くなった。決して肉が悪い訳ではない。動物性タンパク質は私達の食生活や、体力の向上に役立っている。ただお肉に偏らないでお魚も食卓に乗せることをお薦めしたい。お魚の「不飽和脂肪酸」に注目して下さい。

振り替えるに、私達の育った過程で忘れられない味、それは「おふくろの味」でないだろうか。それは母親の味と同時に、家庭の味である。

あなたはどの様な料理が浮かびますか？

現在は忙しい時代、同時に便利な時代でもある。デパ地下、コンビニのお惣菜の利用も結構だが、「おふくろの味」が「ふくろ（袋）の味」にならない様に、一品でもお母さんの料理（家庭の味の料理）が欲しいと思う。そして飽食の時代ではあるが、「腹八分」を実行しようではありませんか。今、世界で注目されている食に「和食」がある。ユネスコ世界無形文化遺産に登録された。一口に和食と言うと、すし、天ぷら、そば等を思い浮かべるが、今回の登録では個々の食べ物だけでなく、我が国の食文化、食習慣を含めた登録である。和食の基本の献立は「一汁三菜」。ごはん、味噌汁、おかず三品、漬物、とてもシンプルな様に見えるが、実は色々な要素が詰まっている。豊富で多様な食材、季節感のある食材、栄養のバランスを考えた食材、ヘルシーで体に優しい食材等。そして味付けは「ダシ」と「発酵調味料」である。

さあ、今夜はどの酒を飲もうか。考えると楽しい。夕暮れが待ちどおしい。

筆者プロフィール

「発酵」というキーワードを店づくりの特徴とした老舗酒店『酒学工房 川松屋』の店主。街の酒博士として数々の講演をこなす。東京農業大学、同大学院にて「醸造学」「発酵化学」を専攻、その後、国税庁醸造試験所で研究者として取り組んだ後、家業の「川松屋酒店」を経営

◆ちょっと豆知識◆その31 「常識をうたがうことの素晴らしさ」

技術営業部 部長 成田 護 (mamoru@shinyo.co.jp)

最近、就寝前の20分を、知識を得ると英語のヒアリングのトレーニングを兼ねて、スマホでTEDトークを観るのに充てています。タイトルがそれっぽくなったのはその影響かも知れませんが、今回お伝えしたいのはそのことではありません。

2014.4月の本稿でも触れましたが、製麹時の種麹量を極端に減らすと何が起るのでしょうか？

そもそも黄麹菌以外の種麹を使って清酒を造ったら何が起るのかしら？

一般的な麹の品温経過を大きく逸脱したら（高い方も低い方も）どんな麹になる？

清酒用以外の酵母を使ったら？税法上の問題をクリアして、米の糖化液を単発酵させたらどんな酒になるのだろうか？フィルトレーション以外に醪の固液分離法は無いのか？火落ち酒を「乳酸発酵酒」とすることは出来ないものだろうか？

上記の疑問のいくつかは、現在では解決されて「新たな清酒製造技術」として広く世に知られていますが、恐らく、20年前に同じような疑問を同業他社の人に投げ掛けたら「バカなことは考えるな。時間の無駄だよ」と言われたことでしょう。

思いついたことをいきなり実地レベルで試す勇敢な方はいらっしやらないと思いますが、小規模のテストから始めて「イケる」のを確信し、徐々にスケールアップして行って、最後はモノにするというアプローチは、古今東西変わらず、イノベーション、そこまで行かずとも改善・改良のまさに王道と呼ぶべき手法でしょう。

大事なのは思いついた「タネ」を「どうせダメだよ」と引っ込めてしまわずに、心の奥で温めておくこと、誰かにそっと打ち明けて意見を聞くことだと思います。

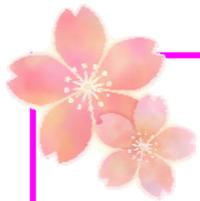
遅ればせながら、200万部を超えてロングセラーになっていることで再注目されているという「思考の整理学（外山滋比古・筑摩書房）」を読みましたが、そこにも、考えを温め、「熟成」させることの重要性が説かれていました。

常識をひっくり返すような清酒製造技術が、まだまだ日の目をみずに眠っているのではないかと？

私たちは清酒製造にかかわる微生物の持つポテンシャルを、まだまだ十分に引き出せてはいないのではないかと？

様々な新規技術を目の当たりにするにつけ、そう思わずにはいられません。

「人の行く裏に道あり花の山」は株の世界の格言だそうです。技術開発もまた、同じことが言えるように思います。



★ 2県残っていた ★

モツセイ

生産部 島貴 修一

1994年に沖縄をバイクで旅してた時に、これで47都道府県全て訪れたと思った。そして今までずうっと思い込んでいた。しかしよく考えてみたら事実は違っていた。なんと鳥取県と兵庫県は素通りしただけで降り立っていなかったのだ。両県を除く45都道府県は仕事か観光で訪れていたし、山口県以外は宿泊もしていた。それなのに鳥取県は山陰本線で、兵庫県は山陽新幹線で通過しただけ。九州7県と四国4県と紀伊半島3県はバイクで3回走り回り、こんぴらさんも2回登ったのと比べればえらい違いだ。

過去の西日本への旅を振り返ってみると、前述の九州・四国・紀伊半島ツーリングの場合は、行きは大阪南港から門司まで瀬戸内海を船中泊。帰りも船で別府から八幡浜へ、更に四国を横断してから和歌山へ渡った。韓国一人旅で下関に船で帰ってきた後は、下関と出雲を観光してから山陰本線で京都へまっしぐら。備中高梁と呉と江田島に行った旅では、兵庫県は往復共に通過しただけ。決してこの両県を疎かにした訳ではないのだが。

よし！鳥取県と兵庫県に行くぞ。在来線各駅停車を乗り継いで。福島から在来線各駅停車で大阪まで行く無謀？な旅をしたことがある。東海道線では部分的に快速も使ったが、ガタンゴットン揺られて1泊2日（静岡市に泊まった）かかった。車内の雰囲気には乗り降りする地元の乗客の生活感が漂い、新幹線とは対極の旅だった。

こんどは日本海側の路線でガタンゴットンしてみよう。ローカル線と第三セクター鉄道を乗り継ぐので日数はかかるが、ゆっくり流れる時間を楽しみながらの旅をしたい。

目指せ47都道府県制覇。もちろん米子の鯖寿司と丹波の黒大豆・丹波栗も。

■【息子との時間】

総務部 神田 直枝

息子の顔を見るのは、正月とお盆の頃。「今夜帰る」しかも急に。他はLINEの既読で安否確認。ある日偶然、YouTubeでがなり立てて歌っている息子を観た。「ギターは弾いていたけどギターボーカルもできるんだ・・・」と私。主人は「下手なのに調子にのるから絶対褒めるな!!」と言。「今日は声が良く出ている、なんか調子が悪そう、同じものなのに顔色も良かったり悪かったり」と、下手な歌は味があって飽きない。そしてライブを幾つも見つけた。なんだかやる気スイッチが入った私は「手仕事」がはかどる。けれど私が視聴回数を上げていることは息子には「ナイショ」です。

■【姪との時間】

姪に赤ちゃんが生まれ「家族アルバムみてね」に招待されました。画像ムービーを家族でシェアリアルタイムで共有し楽しめるアプリです。昨日送った洋服を今日着せられて笑っている動画や、顔認識スタンプを使って動物の耳や鼻を付けて動く赤ちゃんの様子、節分やお雛様の様子を写真アートにした物等々。両家の御両親に混じって思わず「かわいい、にあう、上手い、いいね」とコメントを入れています。ほっこりといやされたり、可笑しくて大笑いしたり、遠くに暮らしていても、息子も姪もすぐそこにいるような気がして楽しませてもらっています。

私の時間 ペンリレー



今日のテーマのお花



■【男同士の時間】

初めまして、総務部の田中と申します。

総務部 田中 和子

今回初めて原稿を書かせてもらう事になりました。よろしくお願いします。

テーマを聞いたら「私の時間、趣味」との事。小学生の子供が二人おり常に一緒に過ごしていて一人の時間を持つ事なんて考えた事もなくて・・・。なので「親子の時間」で少し書いてみようかなと思います。

主人は地元のサッカーチームの監督、小一の長男は選手としてチームに所属しています。年長から始めてサッカー歴は二年になります。火曜の夜と土曜の午前と週二回の練習ですが、火曜の夜は学校があるせいか、行きたくない病がでできます。主人と二人練習に出かけて行くのですが、帰ってくると子供の口の横にはご飯粒が・・・。ん？と思い聞いてみたら「内緒!!」火曜の夜だけは、いつもは厳しい主人も練習終りに二人っきりでコンビニへ寄り、こっそりおにぎりを食べ、親子であり男同士で短いけれど楽しい時間を過ごしているみたいです。今度、私も一緒にまぜてもらおうかな・・・。